

withコロナの今、考えたい
オンライン関係人口 と 地域での働き方



2020年12月16日

ハピキラFACTORY 正能茉優

正能茉優

Mayu Shono



- 株式会社ハピキラFACTORY 代表取締役
- パーソルキャリア 新規事業開発
- 慶應義塾大学大学院 特任助教

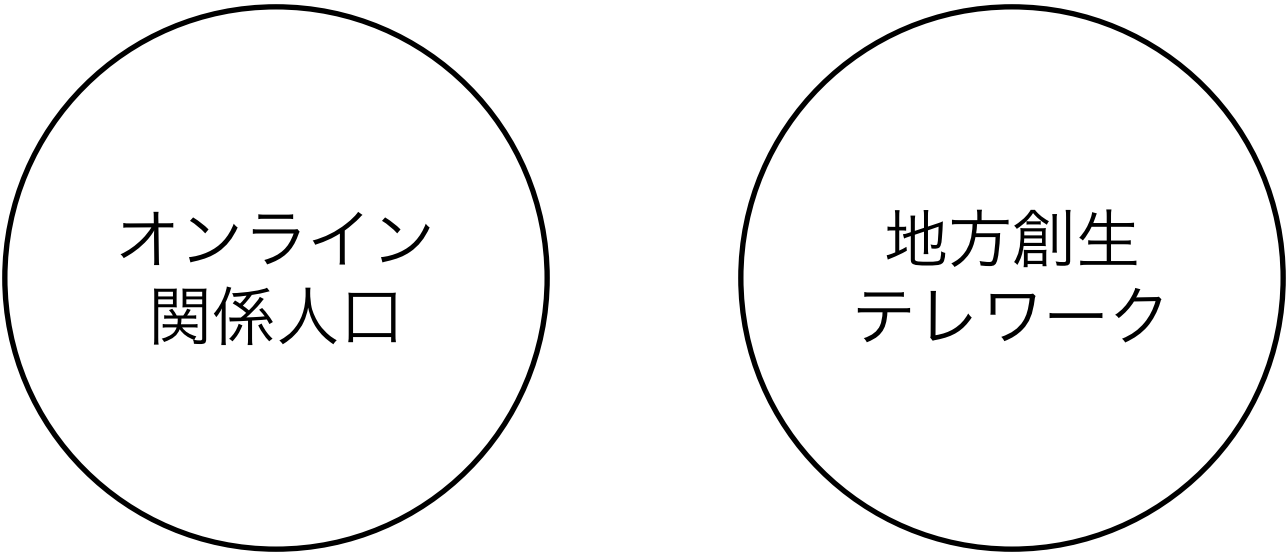
1991年8月22日生まれ（29歳）

小学6年生から高校卒業までの7年間、
読売新聞の子ども記者として活動。

2010年、慶應義塾大学総合政策学部入学。
デザイン思考・オーラルヒストリーを学ぶ傍ら、
学生秘書・恋愛ゲームシナリオライターとして活動。

2012年、「小布施若者会議」を創設。
その後、(株)ハピキラFACTORYを創業。

大学卒業後は、博報堂でプランナーに。
2016年10月より、ソニーに転職。
現在は、パーソルキャリアにて、
ジョブ型をテーマにした新規事業企画を行う。



オンライン
関係人口

地方創生
テレワーク

長野県小布施町における新事業創造プログラム（慶応大学SFC）も
2020年春より、完全オンラインでプログラムを実施。



LINE / Facebook / 電話 を駆使し、学生らと商品開発等を実践中。

オンラインで完結する商品開発・プロジェクト実行が可能に。



プロジェクトを持つ関係人口の方が、オンラインに切り替えやすい。
= プロジェクト型オンライン関係人口

オンライン関係人口1.0から、**オンライン関係人口2.0**へ

- ① プロジェクト型オンライン関係人口のみならず、
交流型・消費支援型をもオンラインに巻き込んでいく
- ② オンラインで完結させず、
地域にいる人の協力を得て、オフラインにつなげることで、
実際の地域での実際のアクティビティを活性化する

地方自治体・地方大学との連携を促進する等
地域が関係人口のアクションを促し、サポートする施策
が今後必要だと考えます

A scenic landscape featuring a paved road that curves through a lush green valley. In the background, a range of rolling mountains is visible under a bright blue sky filled with scattered white clouds. A white car is driving away on the road, and a motorcyclist is in the foreground on the right side. The overall atmosphere is peaceful and open.

オンライン関係人口としての活動
＝ 地方創生テレワークの一つのきっかけ

オンライン関係人口としての活動を、
地域でのオンライン副業と位置づけることができれば、
これこそが地方創生テレワークのきっかけとなる

副業案件を地域が取りまとめ、働く人とつなぐインフラを整える等
「地域でやりたいことがある人」と「地域の案件」をつなぐ施策
が今後必要だと考えます